

## 第10回高山駅周辺地区まちづくり協議会議事録要旨

日 時 平成24年2月15日(水) 13:30~14:30

場 所 高山市役所 中会議室

出席委員 9名

《開会》

《副市長挨拶》

《委員の紹介及び会長の選任》

《会長あいさつ》

《議 事》

報告事項

総合交流センター検討委員会の検討結果について

土地区画整理事業の実施状況について

会 長：まちづくり協議会で現在大きな話題となっていますのが、土地区画整理事業と総合交流センターの件です。本日はその2件について、ご報告をいただく事となっております。まず、総合交流センター検討委員会の検討結果につきまして、部会長より報告願います。

－ 資料に基づき、部会長より説明 －

会 長：ただいまご説明いただきました内容につきまして、ご意見ご質問を賜りたいと思います。

委 員：色々と検討されており、共感する部分も多いと感じます。機能としては色々ご検討されておりますが、規模、スケールの事は検討の対象に入っているのでしょうか。以前の総合交流センターの規模を念頭に置きながら検討されたという事になるのでしょうか。

部会長：この機能に関しても、大きい箱モノ施設が必要なのかという意見もありました。アンテナショップ機能という事であれば、それ程大きい施設は必要ないと思います。市民団体の活動支援機能については、現在、飛騨センターでも行っていますが、机一個と書棚一個を年間6万円程度で団体に貸し出しています。そのように考えますと、以前の交流センターのような3階建ての大きい施設までは必要ないのではないかといった意見もありました。逆に、イベントができるような多目的広場的な物を整備した方が良いのではないかという事でした。以前の施設規模よりは小さい施設を皆さんが頭にイメージしていたと思います。

委 員：委員が言われた事と関連していますが、私的に形としてのイメージは湧いていません。規模が以前より小さいという話がありましたが、中の機能を重要

視して皆さんが意見を出されたと思います。森の中の施設であるとか、中心部ですので木の中の施設であるといった、敷地全体を含めた議論については今からだと思っています。

委員：言うなれば、1年間かけて基本構想を作成したという感じです。それらの機能を配置した時にどのようなのかという基本計画が次の段階にあって、基本計画、基本設計までいくのかは今後の市の進め方だと思います。その時に委員会から出てきた言葉は、総合交流センターの今まで決まっていた敷地だけではなく、コンパクトシティという概念で、他の施設と結ぶように、今後基本計画的なレベルでご検討いただき、配置していただきたいというイメージになると思います。

会長：健康増進施設については必要ではあるが、この場所に必要なのかという議論と理解してよろしいでしょうか。また、駐車場機能も同じようなニュアンスで駐車場はあった方が良くても、この場所には必要なのかという議論でしょうか。

委員：まず議論としてはコンセプトを固めてから話を進めましたので、「健康」や「元気」といったキーワードの中に、自動車社会を入れ込んで良いのかどうかという所を真剣に考えていただきました。ただし、実際支所地域の方を集っていただく為には駐車場が必要となります。町中の方から見れば車が沢山入ってくる事が良いのだろうかという事で、広い高山市域全体の方達の中で、なおかつ各団体の代表者という立場からまとまりませんでした。この意見は行政主導で考えていただくという事になりましたが、健康増進機能に関しましては、数千人の方の要望はありましたが、他の何万人の方を集っていただく為には、別の機能が必要なのではないかという事で弾かれてしまったとお考え下さい。

会長：この議論につきましては、これからも皆様のお知恵をいただきながら、計画を煮詰めていくという事になると思いますので、皆様のご協力をお願い致します。

次の議事に移りたいと思います。土地区画整理事業の実施状況について事務局よりご説明いただきます。

事務局

－ パワーポイントにて事業の実施状況について説明 －

会長：ただいまのご説明の内容につきまして皆様からご質問を賜りたいと思います。

委員：駅周辺整備課の皆さんには注目されている事業ですので頑張ってくださいと思います。2点ほどお聞きしますが、JRとの協議については中々大変なのではないかと思います。例えば先日のヒダホテルの交差点からの踏切工事にし

でも半年もかかっているという事で、計画どおりに進めば良いと願っています。もう一点ですが、総合交流センター検討委員会の結果報告の中にも、中心市街地の空洞化などに対する抑制にもなると書いてありますが、高山市で2年ほど前に中心市街地活性化計画を国に出されました。ところが、駅周の關係の工事がはっきりしないという事でストップがかかっている状態と思います。駅周の工事ができないと国の認可が下りないという事になりますと、中心市街地の全体のエリア290ヘクタールの中で事業を進めようとした場合、国の支援が受けられないというような事があります。是非、平成29年までの計画が進んでいくようにがんばっていただきたいと思います。

事務局：私共もJRと自由通路と駅舎につきまして平成9年度に結んでいる覚書を変更する覚書を結ぶという事で、合意に近づいてきていますので、合意ができた段階で市民の皆さんに公表させていただきながら進めていきたいと思っています。もう一点は、午前中に開催しました審議会の中でも、区画整理事業地内でも空地がたくさんあるのではないかと、あるいは駐車場としての利用が殆どではないかといったご指摘も受けています。私共も空地を作るために区画整理事業を進めているわけではありませんし、その場で経済活動を行っていただく事が一番の賑わい活性化につながる事と思っています。その為には東西を結ぶ自由通路あるいは交流センターを含めた公共施設、合同庁舎を含め行政で行える事は進めながら、それらを起爆剤として民間の方に波及していけるような事業にしていきたいと思っていますので、このスケジュールに合わせながらJRとも調整し進めていきたいと思っています。

委員：駐車場計画が最終的にポイントになってくるような気がしますが、ピークの時とそうではない時、周辺の方が来られる時など、区画整理はかなり進んではいますが、外も含めて今回の報告を受けて駐車場の使い分けをご検討いただければと思います。

委員：たしかに施設の駐車場という事と、高山は特に観光客のお客様の誘導という事があります。観光客のお客様の誘導という事になりますと、町中にインターチェンジができましたので、国土交通省のご指導もいただきながら、モデル事業という事で人のどのような流れを作っていけば良いのか考えています。今現在は従前から北側と南側にあります大きな駐車場、更には駅周の大きな駐車場に誘導するような形で、残りは歩いていただくとか、公共交通機関を使っただくといった流れを考えております。ただし、駅周の駐車場をどうするのかという事はもう一度検討していかなければならないと思っています。文化会館についてもイベントを行った場合、市民は車を利用するといった習慣がありますので、それらに対応する手段を検証していかなければと思っています。駐車場が無いと大変という思いもありますし、造ってしまうと本来のテーマ、コンセ

プトの中でこういった位置づけになるのか考えていかなければならないと思っています。

会 長：駅の西側の道路も拡幅するといったお話があったと思いますが正しいですか。

事務局：建設課にて街路として道路を広げるように進めています。

会 長：その拡幅は、駅周辺土地区画整理事業とは別の事業になるのでしょうか。

事務局：別の事業になります。

委 員：区画整理事業ではないのですが、アンダーパスに繋がる道路を、国道まで繋げるという計画があったと思いますが、どのような状況になっていますか。

事務局：国道41号まで殆ど拡幅は終わっていますが、国道との取り付け部が残っています。その工事が終われば完成します。

会 長：この中では色々な事業が入っていて、駅舎・自由通路、総合交流センター、区画整理事業など、それぞれタイミングは同時に進めていかなければいけないものなのか、土地区画整理事業は先行して実施し、交流センター、自由通路はその後に整備するといったタイミング等の縛りはあるのでしょうか。

事務局：区画整理事業がベースとなっています。駅の広場は区画整理事業で生み出して区画整理事業で整備するという事ですので、東西の駅前広場は区画整理事業で行いたいと思っています。自由通路につきましては区画整理事業ではなく、別事業となります。自由通路が終わってから広場を造るような形になりますので区画整理事業を先行しながら、自由通路も殆ど同時に進める事になると思います。ただし、交流センターにつきましては工事ヤードとは離れていますので、別の事業で展開できるとは思いますが、事業の効果が最大限表れるのは自由通路ができてからだと思いますので、その時期に併せて整備する方法が良いのではないかと考えています。

委 員：自由通路について、観光客や、高山に来る人に対するの対応という事についてはどういった形になるのでしょうか。今後、細かい協議をされると思いますが、観光客にやさしい形といった思いを当初から取り入れていただけるようにJRをお願いしていただきたいと思います。

会 長：皆様から貴重なご意見を賜りましてありがとうございます。この事業の実現のためには、まだまだ皆様のお知恵を拝借する事がたくさんあるようです。今後ともご協力のほどよろしくお願い致します。それでは議事は以上で終わります。

《閉会》